

ステムに6~7年かかりきっていましたがこれも一段落し、現在はこれをさらに発展させる自動車の交通環境の情報化による社会経済性の向上につながる雑多なプロジェクトを手がけています。交通問題というものはほとんど八方塞がりのようなところがある反面、やる気になると、やらねばならないことが山のようにあります。交通需要分析手法については、従来いろいろの方法を試みてきていますが7月初旬のMITのセミナーで非集計モデルの話がきけますので、これを契機にこれを取り入れた地域交通改善を試みてゆきたいと思っています。

東北電力(株) 情報システム室 五十嵐 豊

コンピュータ部門転入以来15年、この道一筋といえ、かなり充実したもののように聞こえるが、創生・定着そして躍進期へと、標準化、教育・OR普及、システム設計、計画面など雑然と焦点ボケに打ち過ぎ、やや淋しい感じがしないでもない。さて、話変わって昨年11月初め、あるキッカケでそれまでのバスやバイクから徒歩通勤の止むなきにいたり、以来毎日4キロ42.3分の道のりを

往復している。ルートはメインが2通り、サブルートがそれぞれ2~3通り以上ある。この道路・環境条件をくくると、AはBより10%短いが、交通信号や道路横断の数が8箇所ほど多く、したがって待ち時間の問題もあり、歩道もやや不備で車や人の交通量もかなり多い。しかし、屋根つき歩道や家並みも多いため、雨や雪、暑い日射しを避けられるという安心感がある。また、50m幅の定禅寺大通りの空を覆う榲並木の美しさ、七夕で賑う仙台一の繁華街一番町や夜の歓楽街飲み屋街国分町界限を歩けば、生々しい表と裏の景気の動向予測や夜への探索もできるというメリットもある。一方、Bは市内を蛇行する清流広瀬川に懸かる長い橋を2本も渡り、歩道も広く、緑も多く春には二高の桜並木、西公園のしたれ桜、鶯が歌い燕が飛び、まさに爽快な朝の散歩道といえる。さて、目的関数にもよるが、安全性・快適性・気象上の危険率、40分の善悪度などの要因を考えれば、果して最適ルートはいずれか？朝の5分は貴重ではあるが、健康面を考えれば省エネの問題ではなさそう。ORか行動科学か、いや心理学の問題か？歩きながらの思考では収斂への道は遠い。正解へのアプローチをご教示ください。因みにAの最短コースで4.1km、5300歩です。

## 会合記録

- ( )内は出席者数
- 理事会 9月1日(火)(16)
- 編集委員会(OR誌) 9月2日(水)(7)
- IAOR委員会 9月4日(金)(2)
- 編集委員会(論文誌) 9月24日(木)(5)
- 研究普及委員会 9月25日(金)(13)
- 第2回理事会議題(9月1日)
- 第1回理事会議事録の承認
  - 入退会の承認
  - 表彰委員会委員の推薦
  - 事務室の共益費値上げについて
  - 会費値上げに係る定款の一部改訂について
  - 国際関係報告

- IFORS 国際会議代表者会議ならびに参加報告
- 視察団報告

1981年11月号

## 7. 研究普及関係報告

- 1) 秋季研究発表会の準備状況
- 2) 第3期モニターの委嘱
- 3) 第2回ORセミナー開催要領
- 4) 月例講演会の予定
- 5) 他学協会よりの協賛依頼
- (1) 第9回「計測と制御におけるミニコンとマイクロコンピュータ講習会」
- (2) 第32回自動制御講習会「シーケンス制御の現状」
- (3) 第5回ビーグル・オートメーション・シンポジウム
8. OR誌購読者名簿
9. その他

## 入退会

(56.6.17~56.9.1)

### ●入会(正会員)

- 浅見 勇 (株)ケー・ジェー・ビー・エー
- 伊藤 周二 東亜燃料工業(株)
- 王 義孝 (株)日本科学技術研修所

木村 征児 (株)コンピュータ・アプリケーションズ

- 小林 久和 広島大学
- 菰田 保夫 東北大学
- 桜田 一之 東京工業大学
- 薩摩林俊彦 (株)富士銀行
- 芝山 龍一 北海道電力(株)
- 富田 英雄 日本電信電話公社
- 内藤 昭 芝浦工業大学
- 浜本三千夫 (財)地方自治情報センター

- 原田 孜 東北電力(株)
- 樋口道之助 横浜国立大学
- 藤代 侑宏 東京理科大学
- 星野 直彦 (株)河電機製作所
- 堀尾 正彦 住友重機工業(株)
- 丸林 哲也 大阪府
- 宮元 敏男 川崎重工(株)
- 八巻 直一 東京理科大学
- 横溝 彰 (株)損害保険料率算定会
- 李 康雨 釜山水産大学

学生会員

石木田 隆 東京工業大学  
酒井 誠一 中央学院大学  
阪井 節子 大阪大学  
佐藤 泰司 広島大学  
矢部 博 東京理科大学

賛助会員

川崎製鉄㈱  
日本アイ・ビー・エム㈱札幌営業所

●退会(正会員)

池田裕夫 田中克長 永井利昭

●移動(学→正)

井村 博之 久保田鉄工㈱  
池田 秀夫 新日本製鉄㈱  
宇佐川雄士 中国電力㈱  
戎 恒行 日本電気㈱  
大堀 真司 日本鋼管㈱  
海生 直人 広島修道大学  
崎谷 富繁 松下電子工業㈱  
新明 善彦 松下電工㈱  
鈴木 裕基 ㈱フジミック  
内藤 昭三 日本電信電話公社  
野中 邦善 ㈱日本ラヂエーター

藤田 恭三 日産自動車  
増田 和行 システムズ・デザイン㈱  
谷内 正文 東北大学  
S. K. Biswas 富士通㈱  
富山 慶典 社会環境システム研究  
所

伊倉 義郎  
石田 亘 住友電気工業㈱  
上村 真一 住友電気工業㈱  
大野 康宣 日立製作所㈱  
大村 康一 山川工業㈱  
片田 佳宏 川崎製鉄㈱  
芝崎 和孝 レンゴー㈱  
杉原 秀樹 ソニー㈱  
中川 義之 住友金属工業㈱  
夏目 正明 東京通信機㈱  
浜田 和樹 国際科学振興財団  
藤原 康之 日立製作所㈱  
村上 武 帝人㈱  
横崎 克司 松下通信工業㈱  
鶴田 真人 東京芝浦電気㈱  
野村 邦夫 ㈱第二精工舎  
末木源一郎 三菱スペースソフトウ

エフ㈱

橋本 昭洋 筑波大学  
松島 昭 ㈱リコー  
梁 容準 仁荷大学校

昭和54年度以降会費未納による除名者

〈正会員〉 荒川一人 秋友寛 井上俊昭 飯塚耕造 石川渉 岩松幸雄 大島久敏 大橋建明 上岸義明 笠岡透 片野正男 川畑興求 木納崇 清原徹二 木藤正章 菊池庸平 五阿弥仁志 佐塚直美 鈴木邦生 田井政好 谷岡隆 千葉智行 椿常也 内藤義輝 中原清志 長田博 林紀男 日置雅博 藤田一男 舟木義治 古田興治 安井英二 安永周二 吉川哲朗 Tam.F  
〈学生会員〉 伊藤稔 飯島淳一 石井健児 上田幸彦 織田豊 金子雅彦 小暮和佳子 下園和彦 篠藤静男 谷本準 松本雅裕 三島功 三竹和則 横山佳正 渡辺正信 金鶴 洙

編集後記▶皆様が本誌を手にする頃は日本シリーズや六大学野球も終り、シーズン・オフ間近となっていることでしょう。今年の行事も少なくなり、そろそろ本年のまとめにとりかかる季節となりました。行く秋を惜しむ寂しさと総括の忙しさが交錯する複雑かつ微妙な心のゆらぎが感ぜられます。▶学会はまだ11月25~28日の筑波大学でのシンポジウム、秋季研究発表会というビッグ・イベントが待ちかまえており、世話役の方々をはじめ、とても晩秋の感傷を楽しむ余裕もなく忙殺されていることと思います。ぜひ充実した大会として世話役の方

々の努力が酬われることを期待します。積極的なご参加をお願いいたします。▶本号の特集は近年話題となっている多属性効用理論をとりあげました。評価の問題はORの初期からの大きなテーマであり各種のアプローチが試みられてきました。多属性効用理論も有望ではありますが、まだ完全とはいえません。佐伯先生の論文でも指摘されているように多属性効用理論も単なる技術論ではなく、人間をトータルとして捉えた視点を忘れないアプローチであることが望まれます。特集の各論文にそのような視点を見出しただけの期待をします。(M)

# オペレーションズ・リサーチ

昭和56年11月号 第26巻 (新シリーズ第6巻) 11号 通巻251号  
代表者 松田 武彦  
発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
(電話 03-815-3351~2) ☎ 113  
編集人 小林 竜一  
発売所 株式会社 日科技連出版社  
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 ☎ 151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円 (郵送料含) 年間予約購読料 9600円 (郵送料含)

本誌への広告お申し込みは明報社 (571-2548)、日経弘報社 (563-2241) へ